



3年学年だより

発行日：令和2年12月25日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 7

◆◇『正しく知って、正しく怖れて、正しく予防』◇◆

12月12日(土)に学校保健委員会を開催いたしました。学校保健委員会とは、毎年生徒会の保健美化委員会のみなさんが、年度初めにテーマを決めて、時間をかけて調査・分析し、まとめたものを発表します。今年度のテーマは「新型コロナウイルス対策について考えよう」でした。

「コロナ感染拡大にともなって、今年はカナダ研修旅行もなくなり、私たちの生活にも残念な影響が少なからずあります。それでも私たちが毎日学校生活を明るく送れるようにたくさんの方々が支えてくださっています。それに対して、私たちは自分たちができることをしっかり行うことが必要だと考えて、今回の発表を準備しました。」との委員長さんの挨拶で発表が始まりました。

学校保健委員会プログラム

テーマ『新型コロナウイルス対策について考えよう』

第1章

1. コロナウィルスの発生源はどこなの？
2. コロナウィルスとほかのウィルスとの違い
3. コロナウィルスが私たちに与えてきた影響は？

第2章

1. 正しい手洗いの方法とは？
2. 最終兵器！ソリューションウォーター！
3. マスクについて
4. 生活習慣からコロナウィルスを予防したい！



工夫されたPPは、とってもわかりやすい！



高い効果&安全性のソリューションウォーター

委員さんたちはグループ単位で各項目を担当し、発表しました。なかでも休校期間中の附属中学生の生活についてのアンケート調査は、とても興味深いものでした。

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| ○勉強への不安があった | あった52%、なかった35% |
| ○自分や家族が感染することへの不安があった | あった48%、なかった41% |
| ○生活リズムが変化した | 良くなった14%、変わらない35%、悪くなった41% |
| ○消毒の回数が増えた | 増えた59%、変わらない18%、減った1% |
| ○手洗いの頻度が増えた | 増えた51%、変わらない25%、減った3% |
| | などなど |

新型コロナウイルスに対する不安はもちろんあるけれど、適切に予防しようとする附属中学生の意識の高さがうかがえます。また、食事、睡眠、運動の生活習慣からの感染予防対策も紹介されました。最後に「感染症は誰にでもなる可能性があります。目に見えないウィルスに対する不安から、間違えた差別が生まれてはいけません。優しさと思いやりもウィルスと戦う力です」と締めくくられました。正しく知って、正しく怖れて、正しく予防。賢明な附属中学生を頼もしく思います。

国際理解講座『チェンジ・メーカーになろう！』

12月12日の土曜 EGG で、横浜市立大学の上村雄彦先生による国際理解講座が南高ホールにて行われました。「このままでいくと2050年に本当に人類が生存危機に陥る。そうなるとしたら、あなたはこれからの人生どのように生きていきますか？」上村先生から投げかけられたこの問いにあなたはどのように考えましたか？今私たちは技術の急激な進歩によって豊かな暮らしができている反面、地球規模の様々な問題を抱えていることを改めて考えさせられましたね。グローバル・タックスと世界政府のほかにも解決策はあるのかもしれませんが、7期生のみなさんは、これらの問題の原因を見つけ、根本から解決するチェンジ・メーカーになれると信じています。講座終了後には振り返りを書いてもらいました。



○地球温暖化などの問題がどれほど深刻なのか今まで全く実感が伴っていなかったけれど、今回の講演で「人類生存の危機」であり、今後10億年に渡って生きるはずである人の命をつぶしてしまうことでもあることがわかりました。それらを止めるためには、人任せにするのではなく自分で考え、行動しなくてはならないこともわかりました。まだ具体的に何をすべきなのかは分からないけれど、今後自分で調べることでその話を知っていきたいと思いました。(1組：■■■■)

○今まで自分の将来とか考えるとき、自分の好きなこととか楽しいことばかりで考えていたけれど、6秒に一人死んでいるって聞いた時にすごく悲しいし、気持ち悪くなるくらいショックで、将来についてちゃんと人のためになることについても考えていこうと思いました。世界政府については、確かに今の世界危機への対策として合理的だと思ったけれど、それを実現させるためには人々の賛成も必要で、私は世界政府ができることで今までの人類と同じように、混乱や争いが起こってしまうこともあるのではないかと思います。また、そうでなくても人は世界政府に対して批判が多くなると思ったけれど、そういう考えをもって広めていくことが大切だとも思いました。(1組：■■■■)

○今回の講演で、人類の危機を身近に感じました。正直私は自分が生きている間だけ幸せだったらいいと思っていたのですが、その時すら平和に安全に暮らせるか分からないということを知ってとても驚いたし、「自分だけ」という考え方が今の自分たちの生活を脅かしているということに気がついた。世界を変えるという世界政府の実現は本当に難しく、また成立しても地球・人類を守るのは難しいことだとは思いますが、自分も何らかの形で関わりたいと思った。チェンジ・メーカーに自分になれる気はしないけれど、まずは知ることから始めてみたい。(2組：■■■■)

○2050年に人類の危機が、というような具体的な話を初めて聞いて少しショックを受けました。今から取り組まないといけないという危機感が自分の中に出てきました。地球のドクターという話があったけれど、一人でも多くの方がそういった改革の意識を持ちながら生活していくことがとても大切だと思います。また、世界単位で行動する(グローバル)という視点がものすごく大切になってくるのではないかと思います。ありがとうございました。(2組：■■■■)

生存危機に陥ったらあなたならどう生きる？ペアで話し合いも行いました。

○“人類生存の危機”というサブタイトルを見て、自分たちには程遠い内容だと最初は思っていたのですが、講義を聴いて自分たちの行動がとても大切なのだという風に感じました。今後の地球は“地球温暖化”、“AI”、“ウイルス”、“核及び原子力”などたくさんの問題を抱えることになるということに改めて気づきました。後の世代の人々に向けて自分ができることは何なのかを考えるきっかけとなりました。AI の話を聴いた時、サマーウォーズを思い出しました。初めて見たときは、そんなことが起こる訳ないと考えていたが、現実起きる可能性を感じて強い危機感を感じました。90分間、短い間でしたがどうもありがとうございました。(3組：██████)



○自分の身に降りかかっている世界危機が思っていたより多くてびっくりした。例えば、地球温暖化の問題でもそれが原子力発電の問題に関わってきたり、全部つながっているので、世界規模で対策をしなくてはならない＝世界政府が必要という考えにとっても納得した。また、スターバックスやグーグル、アップルなど信頼をおいていた企業がタックス・ハイブンを行っていったということにびっくりした。税は世の中をより良く使いやすくするためにあるし、企業も最初の思いは世の中をより良くするためにあると思うのに（方向性は同じなのに）逃れているところが矛盾していると思ったし、改善していく必要があると思った。自分たちができる一歩としてまずは知っていくことが大切だと思った。(3組：██████)

○僕は、今日のお話を通じて「数兆人の生命の可能性の運命は私たちが持っている」という言葉が特に印象に残った。僕はまだ夢がいまいち決まっていなかったが、今回のお話を通じて「人類の危機を食い止める職業に就きたい！」と強く思った。これから生きていく数十年で地球の、人類の未来が決まるから、そのために世界で協力していかなければならないという上村先生の意思に強く共感した。今も各国の対立が多いからそのためにどうしたらいいか、それを考え自分でも行動していきたいと思った。今回の講座は、僕にとって面白く、考えがいのある内容だった。(4組：██████)

○私は日々生きていて様々な環境問題があって、危機に直面していることを知りました。だから漠然とCO₂を減らさないといけないのだとか、食品ロスを減らさないといけないのだと思っていました。でも、今日の講義を受けて、更にそれを解決するための手立てがあることを知りました。何より私が思っていた手立ては更に深く考えられることを知りました。そういった考える姿勢、自分と結びつけることなど、大切にしていきたいです。(4組：██████)

上村先生から頂いた本が各クラスに2冊ずつありますので是非読んでみてください。

姫のひとりごと

2 学期の個人面談が終了しました。一人一人の成長の軌跡を、担任の先生や保護者の方と一緒に振り返り、これからの展望と課題を確認できたよい機会になったと思います。

新しい年も、これまで以上に変化を求められることでしょうか。しなやかで柔らかい意識で、過ごしていきましょう。まずは卒論の完成でしょうか。

卒業式について 3月25日(木)14:00より、アリーナにて卒業式を行います。保護者受付は13:30からです。詳細は後日、ご連絡いたします。

